

質 疑 応 答 書 (3)

事業名 メタバースを活用した企業PR促進事業実施業務

番号	基本仕様書等の項目	質 問	回 答
1	「プロポーザル 説明書」 P4.8	プレゼンテーション時に、実際の画面を見せながらデモを実施することは可能か。	提出期限までに、提案書の一部として提出されたデモ動画であれば使用可能です。
2	「基本仕様書」 P1.4.1	メタバース空間公開後は、24時間常時開場する想定か。	お見込みのとおりです。
3	「基本仕様書」 P1.4.1	既存のメタバースプラットフォームを基盤とし、本案件向けにUI/UXの最適化、独自ドメインの設定、および個別機能のカスタマイズを行った提案は可能か、あるいは、提案事業者が自社で開発・所有・運営するプラットフォームが必須条件となるのか。	基本仕様書に記載する要件を満たすものであれば、自社所有のプラットフォームであるかは問いません。 なお、ドメインについては、原則自治体公式ドメインとしてください。
4	「基本仕様書」 P1.4.1	将来的な機能追加について、現時点で、外部システムやデータベースとのAPI連携、あるいは特定の機能追加（電子商取引、マイナンバーカード連携等）について、具体的な想定や要望はあるか。	現時点ではありません。
5	「基本仕様書」 P1.4.1	基本機能要件の同時接続者数に関して「最大同時接続者数は150名以上とする。」とあるが、開催期間中は常時150名以上同時接続できるような体制を構築する必要があるか。	お見込みのとおりです。

6	「基本仕様書」 P1.4.1	イベントエリアを開放してのイベントを実施している間は最大同時接続者数150名以上、開催していない期間は30名といったような想定される入場規模に合わせて同時接続者数の上限を調整するような運用は想定しているか。	想定していません。
7	「基本仕様書」 P3.4.1	出展企業向けの個別アカウントは、受託者が個別に発行するのか、あるいは、特権アカウントの管理画面から発行できるようにするのか。	受託者が個別に発行します。
8	「基本仕様書」 P3.4.1	特権アカウントのログイン情報（アドレス、パスワード）の初期設定は、使用者が行うのか、あるいは、受託者がログイン情報を設定したアカウントを用意するのか。	受託者でログイン情報を設定したアカウントを用意してください。
9	「基本仕様書」 P4.4.2	参加企業50社は目標値か。発注者に候補があり、募集に協力するという認識でよいか。	50社は参加目標数です。 企業への働きかけを含む募集業務を受託者が行います。
10	「基本仕様書」 P4.4.4	イベントエリア運営支援について、既に候補となるイベントはあるか。ある場合、集客の規模感はどの程度か。	現時点で想定しているイベントはありません。

(注)この質疑応答書は、仕様書の追補とみなす。なお、この用紙には業者名を記入しないこと。